

# 今年是我たちの年です

亥年

新年号にあたり『今年是我たちの年です』と題して、今年の干支である亥年の方々に、抱負、感想または町政に望むことなどについてのご意見を掲載させていただきました。



## 今年是我の年です

江川 鈴木 一男さん



イチゴや野菜も合わせた生産設備増強で販売力を強化し、規模拡大を進めていきたいと思えます。自分の干支を契機にギアチェンジをしながら、楽しく皆さまと共にすばらしい農業経営ができますよう頑張ります。最後に更なる五霞町の発展を心よりご祈念申し上げます。

明けましておめでとございます。え、もう還暦ですか！

60年間病気もせず、皆さまと共に働くことができましたこと、あらためて感謝申し上げます。

昨年は皆さま方に大変お世話になり、すばらしい農業施設を完成することができました。今日、農家にとっては農産物の自由貿易協定等、非常にきびしく危機感を持ちながらの経営が続くなか、農産物の安心・安全な生産に努めながら、米を主体に

## 今年是我の年です

原宿台 栗原 陽子さん



私は小さい頃より、母から「亥年なんだから。」と言われて育ってきた記憶があります。亥

年「猪突猛進」という意味で使っていたのだと思います。それは良い意味で使われたのではなく、母の意に添わないことをしようとする私にあきらめの胸中で言っていた言葉だったのでしょうか。自分の意識の中にはなかったのですが、五霞町に嫁ぐ時も猪突猛進ぶりを発揮し、周囲の意見も聞かずさっさと嫁に来てしまったそうです。

毎日のように散歩した行幸湖や土手も、子どもたちはもうつき合ってくれることはありませんが、今年が主人を連れ出し、思い出に浸りながら一緒に歩き健康を維持していきたいと思えます。

さて、朗読の「エコー」も今年で10年目を迎えることができました。「エコー」は五霞町の広報紙、議会だより、社協だより等をテープに録音し利用者に届

ける、というボランティア団体です。毎月かかさず、今まで仕上げたテープは雑誌、本等の録音も入れると60分テープ300本以上になると思います。利用者さんの温かい「ありがとう。」の言葉、なにより会員の皆さまとそのご家族の理解のもとに今まで続けてくることができました。毎月の活動にご協力いただいている社協の皆さま、広報紙担当の皆さまに心より感謝し、お礼を申し上げ新年のあいさつとさせていただきます。

## 明るい年を願って

元栗橋 松本 典子さん



新年明けましておめでとございます。昨年は、身勝手な飲酒事故やいじめによる自殺、虐待など大変痛ましい事件や事故が多発し、私も2児を持つ親として、とても考え深い一年となりました。両親に沢山の愛情を

もらい育てられたこと、また、健康でいられることに改めて日々感謝をしたいと思います。現在は、自分の子どももの頃に比べとても便利になりました。しかし、便利さと引き換えに何か大切なものを失ってしまったようにも思えます。いつの時に人への思いやりや、いたわりの気持ちを忘れずに持ち続けたいと思います。そして、みんながそうであってほしいと願います。

私自身、勉強のために始めた仕事で新しい発見があり、沢山の方に出会い、毎日がとても充実した日を送っています。今年には干支の如く猪突猛進で色々なことにチャレンジできたらと思っています。皆さまにとっても実り多い一年になりますようにお祈りいたします。

